

PEMBELAJARAN KANJI DASAR DI SMA DENGAN MENGGUNAKAN ASOSIASI
MEDIA GAMBAR
(Penelitian Eksperimen Terhadap Siswa Japanese Club SMAN 1 Baleendah)

Cita Putri Kusgunarti

1206355

ABSTRAK

Bagi orang asing terutama orang Indonesia yang mempelajari bahasa Jepang, kanji merupakan salah satu hal yang sulit untuk dikuasai. Dengan jumlah huruf kanji yang sangat banyak, dan tidak berlatar belakang budaya kanji menjadikan orang Indonesia memiliki kesulitan dalam mempelajari huruf kanji Jepang. Dalam penelitian ini penulis mencoba menerapkan penggunaan asosiasi media gambar dalam pembelajaran kanji dasar. Tujuan dari penelitian ini adalah untuk mengetahui apakah terdapat perbedaan yang signifikan antara pembelajaran huruf kanji dasar dengan menggunakan asosiasi media gambar dan dengan yang tanpa menggunakan asosiasi media gambar serta untuk mengetahui tanggapan siswa terhadap penggunaan asosiasi media gambar dalam pembelajaran kanji dasar. Metode yang digunakan dalam penelitian ini adalah eksperimen murni dengan pola “*Pretest-Posttest Control Group Design*”. Sampel yang digunakan adalah 20 orang siswa Japanese Club SMAN 1 Baleendah terdiri dari 10 orang siswa sebagai kelompok kontrol dan 10 orang siswa sebagai kelompok eksperimen. Instrumen yang digunakan adalah tes dan angket. Dari hasil analisis data diketahui setelah dilaksanakan *treatment* dengan menggunakan asosiasi media gambar dalam pembelajaran kanji dasar pada kelompok eksperimen diperoleh hasil rata-rata 88,1 dan pada kelompok kontrol yang tidak menggunakan asosiasi media gambar diperoleh hasil rata-rata sebesar 74,4 dengan t hitung sebesar 3,17 dengan $db = 19$ pada taraf signifikansi $5\% = 2,09$ dan $1\% = 2,86$. Karena t hitung lebih besar dari t tabel, maka hipotesis kerja dalam penelitian diterima bahwa terdapat perbedaan yang signifikan setelah dilaksanakan *treatment* pembelajaran kanji dasar dengan menggunakan asosiasi media gambar. Berdasarkan hasil angket diketahui hampir seluruh responden setuju bahwa pembelajaran kanji dasar dengan menggunakan asosiasi media gambar merupakan metode yang menarik dan dapat digunakan sebagai alternatif pengajaran untuk meningkatkan penguasaan huruf kanji dasar.

Kata kunci : Asosiasi media gambar, kanji.

**BASIC KANJI LEARNING IN SENIOR HIGH SCHOOL BY USING THE
ASSOCIATION OF IMAGE MEDIA**

*(Experimental research toward Japanese Club Students of Baleendah Senior High
School)*

Cita Putri Kusgunarti

1206355

ABSTRACT

For foreigners, especially the people of Indonesia who study the Japanese language, kanji is one thing that is difficult to master. With the number of kanji very much, and cultural backgrounds kanji make Indonesian people have difficulty in learning Japanese kanji. In this study the authors try to apply the use of association of image media in learning basic kanji. The purpose of this study was to determine whether there are significant differences between learning basic kanji using association of image media with the without using association of image media as well as to determine the response of students to use image media association in learning basic kanji. The method used in this study is pure experimentation with patterns of "pretest-posttest control group design". The samples used were 20 students of SMAN 1 Baleendah Japanese Club consists of 10 students as a control group and 10 students as the experimental group. The instruments used was tests and questionnaires. Based on the result of analysis, after the treatment whit used association of image media in learning basic kanji in the experimental group we found the average value was 88,1 and in the control group without using association of image media the average value was 74,4 with t of 3,17 and db = 19 at 5% significance level = 2,09 and 1% = 2,86. Because the t score was higher than t table, thus the hypothesis was accepted, it means the working hypotheses in the study accepted that there are significant differences after treatment carried out basic kanji learning using association of image media. Based on the results of questionnaires known to almost all respondents agree that learning basic kanji using association of image media is an interesting method and can be used as an alternative teaching to improve the mastery of basic kanji.

Keywords: Association of image media, kanji

高校生の初級レベル漢字の授業における絵の教材の連想法を使用する
—Baleendah 高等学校の Japanese Club に実験的研究—

チタ.プトリ.クスグナルティ

1 2 0 6 3 5 5

要旨

日本語を学習する外国人にとって、特にインドネシア人、漢字を上手にするのが一番難しいそうだ。漢字の数がたくさんあって、それに漢字を使用しないので、インドネシア人は漢字をマスターするのが大変なことである。本研究では、筆者は初級レベル漢字の授業における絵の教材の連想法を使用する。本研究の目的は漢字の学習に絵の教材の連想法を使用と絵の教材の連想法なしと大きな差があるかどうか研究する。さらに、絵の教材の連想法に対して、どのような学習者の反応があるのか、知る。本研究の方法は事前・事後の実験「*Pretest-Posttest Group Design*」である。サンプルは SMAN 1 Baleendah の Japanese Club のメンバーの 20 名である。実験クラスは 10 名で、コントロールクラスは 10 名である。データの収集はテストとアンケートである。研究調査によると、漢字の学習に絵の教材の連想法を使用した後実験クラスの平均値は 88,1 を得られとコントロールクラスの平均値は 74,4 を得られて、t 得点は 3,17、db 19 の中で、t 表を見ると、2,09 点(5%) および 2,86 (1%)である。t 得点は t 表に比べたら、t 表より高い。つまり、この実験に大きな差があるということが分かった。アンケート調査によると、回答者は、絵の教材の連想法を使用するのが面白いと反応した。それに、初級レベル漢字を上達するために、効果があるということが分かった。

キーワード：絵の教材の連想法、漢字

高校生の初級レベル漢字の授業における絵の教材の連想法を使用する
(Baleendah 高等学校の Japanese Club に実験的研究)

A. はじめに

日本語を学習するために、四機能があり、聞く、話す、読む、そして書くということが分かった。日本語の学習の目的の中に、書く能力は一つの大事なことである。なぜなら、書く能力は読む能力と関係がある。日本語は、ローマ字以外に、三つ字があり、ひらがな、カタカナ、そして漢字である。日本語学習者は、ひらがなを読めるとひらがなを書けるだけでなく、漢字も大したことである。したがって、ひらがなとカタカナを読めると書けるだけでなく、漢字のことも学習をしなければならない。Renariah (2002:3)は漢字は日本語である一つ字で、読み方と書き方の中に特集がある。なぜなら、漢字は複雑の字とよく呼ばれ、学習するのが難しいそうである。しかし、日本語の中に漢字は大切なことで、格字はそれぞれの意味を持っているのであると述べている。日本語の学習者の外国人は漢字を学習するのがほとんどいる。Renariah (2004:2) は、漢字は日本語の中で、一つの難しいことである。特に、漢字を使わない国であると述べている。

その問題によると、筆者は研究しようと思って、話題は「高校生の初級レベル漢字の授業における絵の教材の連想法を使用する」である。

B. 問題の素材

研究の問題は次のようである。

1. どのような高校生の初級レベル漢字の授業における絵の教材の連想法を使用の結果はあるのであろうか。
2. どのような高校生の初級レベル漢字の授業におけるただ絵の教材だけ、連想法なしを使用の結果はあるのであろうか。

3. 絵の教材の連想法を使用とただ絵のきょざいだけの連想なしで大きな差があるのであろうか。
4. 高校生は絵の教材の連想法を使用にどのような反応であろうか。

C. 研究の目的

研究の目的は次のようである。

1. どのような高校生の初級レベル漢字の授業における絵の教材の連想法を使用の結果はあるの知る。
2. どのような高校生の初級レベル漢字の授業におけるただ絵の教材だけ、連想法なしを使用の結果はあるの知る。
3. 絵の教材の連想法を使用とただ絵のきょざいだけの連想なしで大きな差があるの知る。
4. 高校生は絵の教材の連想法を使用にどのような反応知る。

D. 研究の方法

本研究に用いられた研究の方法は純粋実験方法ということである。実験方法に実験クラスとコントロールクラスがある。使用された本研究のデザインは「*Pretest—Posttest Control Grup Desain*」である。研究の対象者は Baleendah 高等学校の日本クラブ「*Japanesde Club*」の10名（実験クラス）10名（コントロールクラス）である。本研究のデータ収集はテストとアンケートである。テストは2回行われ、事前テスト (*pre test*)と事後テスト (*post test*)というテストである。実験する前に事前テスト (*pre test*)を行い、実験した後、事後テスト (*post test*)を行った。そして学習者の実験クラスに事後テスト (*post test*)した後、アンケートを集めた。

E. データの分析

研究の分析に基づいて、データの分析は次のようである。

表 1

	実験クラス	コントロールクラス
平均点	88, 1	74, 4
t 得点	3, 17	
t 表	2,86 (1%)	2,09 (5%)

データの分析の結果から t 得点は t 表より高いである。テストを計算した結果 t 得点は 3, 17 点で、db 19 の中で、t 表を見ると、2.09 点(5%) および 2.86 (1%)である。t 得点は t 表に比べたら、t 表より高いである。つまり、この実験に大きな差があるということが分かった。

それから、アンケートの分析をする。アンケートの目的は初級レベル漢字の授業における絵の教材の連想法を使用について、学習者の印象を知るためである。データの解釈に用いられる手引きは次の通りである。

表 2

アンケートの効果解釈

0%	いない
1% - 5%	ほとんどいない
6% - 25%	一部いる
26% - 49%	半分以下
50%	半分
51% - 75%	半分以上
76% - 95%	かなり多い
96% - 99%	ほとんど全部
100%	全部

(Sudjiono, 2010: 40)

それから、アンケート調査によると、回答者は、絵の教材の連想法を使用するのが面白いと反応した。それに、初級レベル漢字を上達するために、効果があるということが分かった。

F. 終わりに

データの分析の結果に基づいて、本研究の結論は次のようである。

1. 実験する前に、実験クラスの日本語学習者は漢字能力の平均点が 59, 2 点である。そして実験クラスに対する学習に絵の教材の連想法を使用した後、漢字能力の平均点は 88, 1 点になった。
2. コントロールクラスの漢字能力の事前テストの^{へいきん}平均点は 58, 9 点であった。コントロールクラスの漢字能力の事後テストの平均点は 74, 4 点であった。実験クラスの漢字能力の事前テストの平均点は 59, 2 点であった。実験クラスの漢字能力の事後テストの平均点は 88, 1 点であった。実験クラス学習者はコントロール学習者より漢字能力が高いということが分かった。
3. データの分析の結果に基づき、初級レベル漢字の授業に絵の教材を使用した後、実験クラスとコントロールクラスは有意差があるということが明らかになった。 t 得点は t 表より高い (3, 17 > 2, 09 と 2, 86) ので、 H_k が受けられた。
4. アンケート調査によると、回答者は、絵の教材の連想法を使用するのが面白いと反応した。それに、初級レベル漢字を上達するために、効果があるということが分かった。

G. 参考文献

Renariah. (2002). *Bahasa Jepang dan karakteristiknya*. Jurnal Sastra Jepang Fakultas Sastra Universitas Kristen Maranatha vol 1 No.2. [Online] Tersedia di: http://file.upi.edu/Direktori/FPBS/JUR._PEND._BAHASA_JEPANG/195804061985032-

RENARIAH/artikel/Bahasa_Jepang_dan_karakteristiknya.pdf.

Diakses pada tanggal 20 Februari 2016.

Renariah. (2004). *Mengingat Kanji melalui Bushu*. Jurnal FOKUS Jurusan Pendidikan bahasa Asing FPBS UPI, Vol. 1 No 2. [Online] Tersedia di:
[http://file.upi.edu/Direktori/FPBS/JUR._PEND._BAHASA_JEPANG/195804061985032-](http://file.upi.edu/Direktori/FPBS/JUR._PEND._BAHASA_JEPANG/195804061985032-RENARIAH/artikel/Mengingat_Kanji_melalui_Bushu.pdf)

RENARIAH/artikel/Mengingat_Kanji_melalui_Bushu.pdf.

Diakses pada tanggal 20 Maret 2016.

Sudjiono, Anas. (2010). *Pengantar Statistik Pendidikan*. Jakarta: Raja Grafindo Persada.